



EXPO  
2027

YOKOHAMA JAPAN

# 企業の皆さまと共創するGREEN×EXPO

2024年3月19日

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

公式ロゴマーク



略称ロゴマーク



- 博覧会種別 : A1(最上位)クラス(AIPH承認+BIE認定)
- 正式略称 : GREEN×EXPO 2027
- 開催期間 : 2027年3月19日(金) ~ 9月26日(日)
- 開催場所 : 神奈川県横浜市・旧上瀬谷通信施設
- 参加者数 : 1,500万人(有料来場者数:1,000万人以上)
- 出展国数(予定) : 70の国・国際機関
- 開催主体 : 公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会  
(会長:十倉 雅和(一般社団法人日本経済団体連合会 会長))

経済波及効果 : 7,310億円 (生産誘発効果)

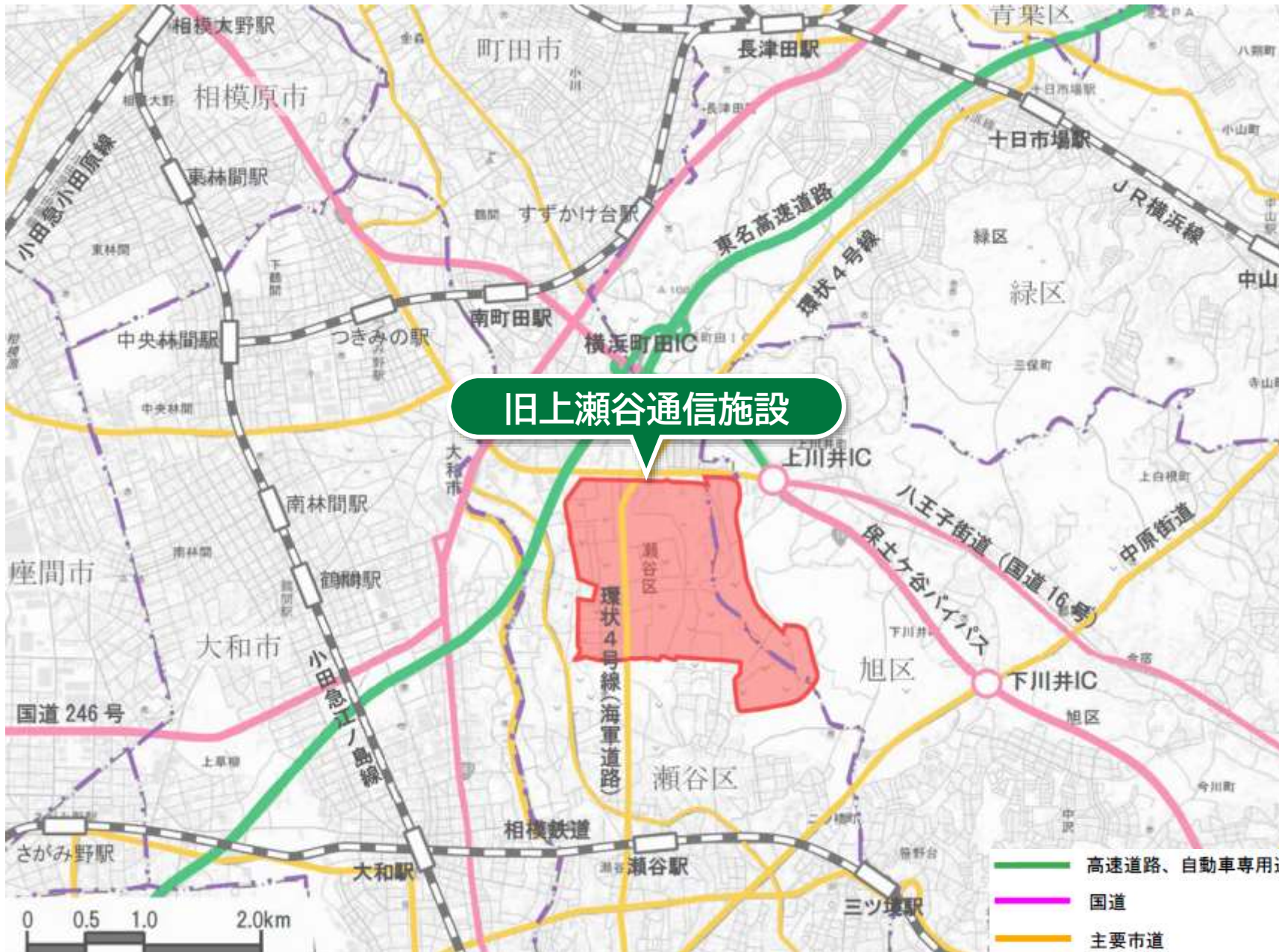
テーマ

# 幸せを創る明日の風景

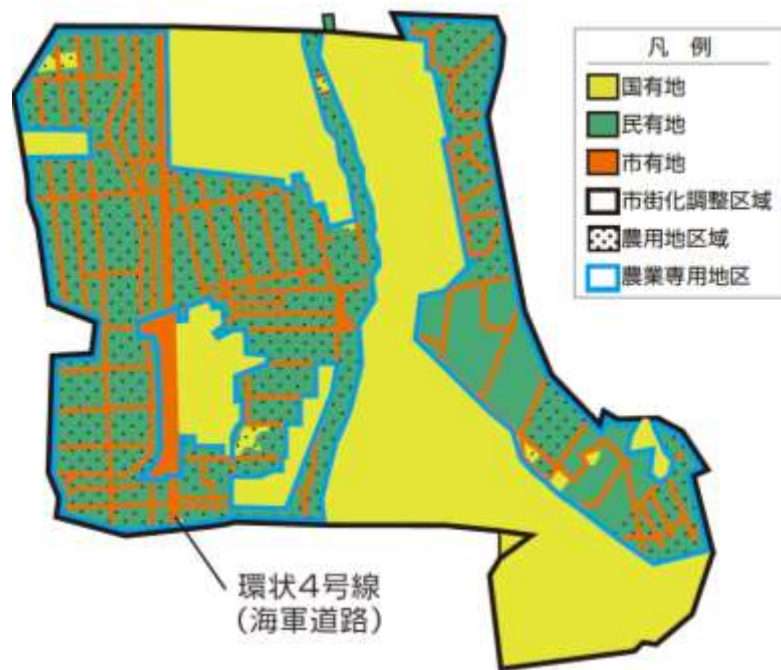
Scenery of the Future for Happiness



# 開催場所(旧上瀬谷通信施設)の位置







土地所有状況



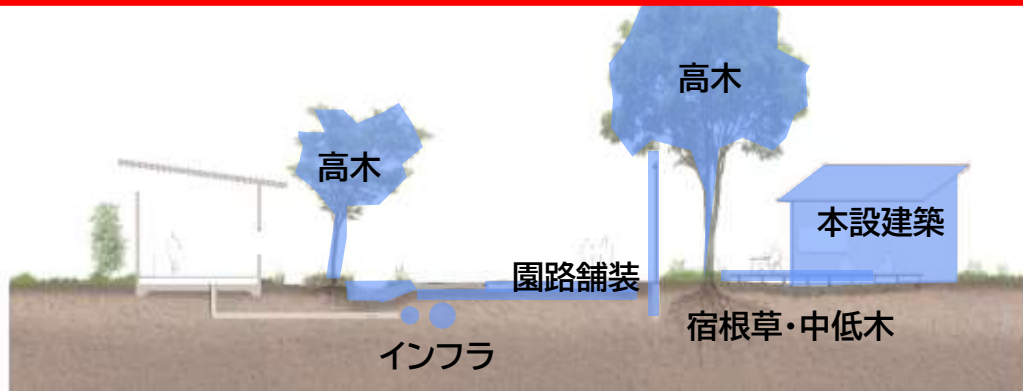
## 博覧会事業



＜博覧会事業＞（仮設）  
 園路・広場  
 インフラ  
 植栽  
 建築、施設  
 演出修景  
**+ 出展者による工事**

- ＜会場整備工事＞
- ・土木工事(舗装、構造物等)
  - ・造園工事(展示園・修景植栽等)
  - ・設備工事(2次インフラ)
  - ・施設工事(休憩・管理施設等)
  - ・建築工事(仮設建築物等)

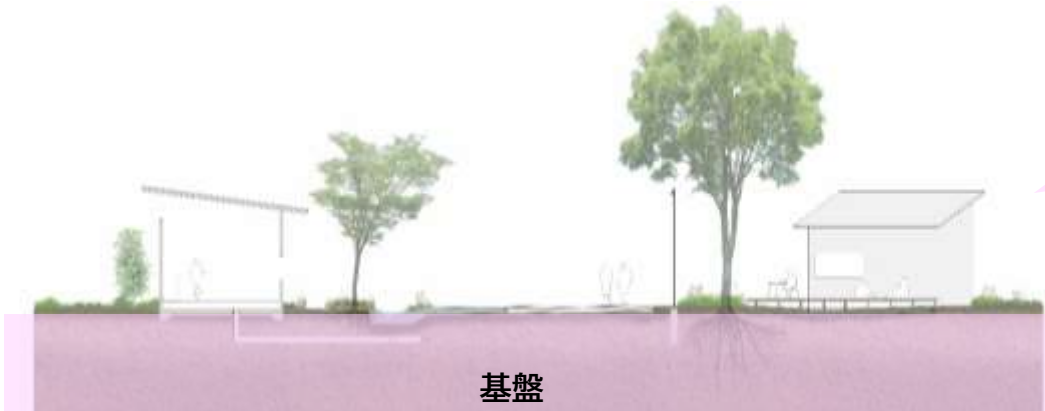
## 公園整備事業



＜公園整備事業＞（本設）  
 園路・広場  
 インフラ  
 植栽  
 建築、施設

- ・土木工事(舗装等)
- ・造園工事(植栽、ガーデン等)
- ・設備工事(各インフラ)
- ・施設工事(休憩・管理施設等)
- ・建築工事(本設建築) 等

## 土地区画整理事業



＜土地区画整理事業＞  
 周辺道路、造成  
 基幹インフラ

- ・埋蔵文化財調査
- ・施設撤去工事
- ・造成工事
- ・調整池工事
- ・基幹インフラ工事 等



○ 海軍道路(環状4号線)の桜並木の再生

○ 公園における新たな桜の名所づくり

○ 会場予定地内でのサクラ広場の整備



○ 桜並木の整備





2027年国際園芸博覧会 会場計画コンセプト

# Nature-based Design

地形を尊重し、自然の力を生かす 交流空間の創造



- 南から北へ風が抜けていく環境です。



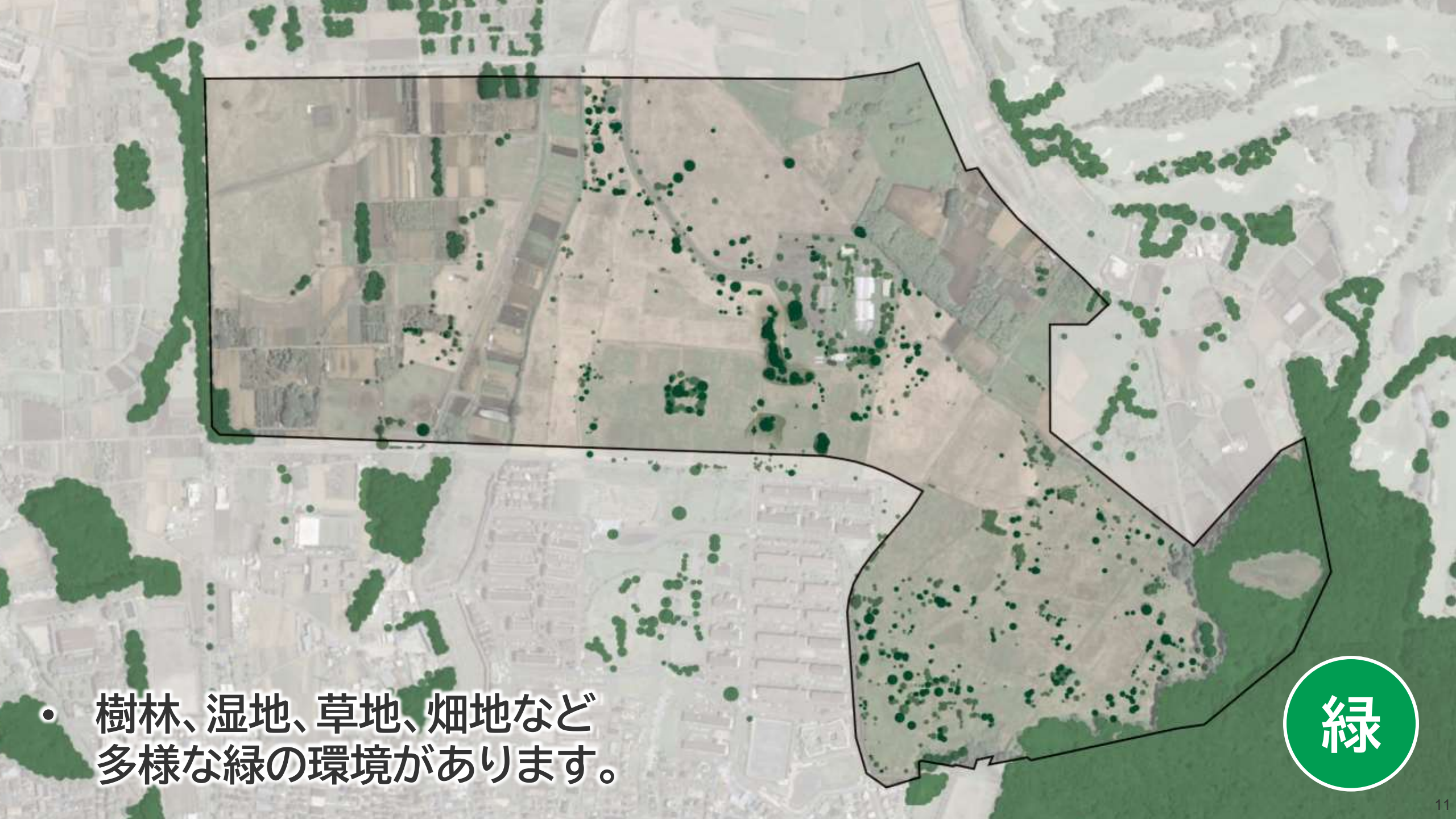


相沢川

和泉川



- 緩やかな起伏のなかで、相沢川と和泉川が流れています。




- 樹林、湿地、草地、畑地など  
多様な緑の環境があります。




# 自然環境を読み解き設定する 博覧会会場の骨格

- 風・水・緑を、環境性能の高い空間として、博覧会会場の骨格とします。




# 環境性能の高い空間を 博覧会会場の骨格として 保全、活用

- 博覧会では、環境性能の高い空間を損なうことなく、会期中も活用します。



# 環境性能の高い空間を 博覧会会場の骨格として 保全、活用

- 環境性能の高い空間の周りに、  
出展・展示施設を配置します。



環境性能の高い空間は  
将来の公園にも  
活かされていきます

- 博覧会後も風・水・緑の重要な空間を活かしながら、都市公園が整備されます。



# 博覧会を契機とした 活動の広がり

- 博覧会での取り組みは、これからのまちづくりや防災、市民活動の広がりに活かされていきます。

# GREEN×EXPO 2027 会場



カーボン  
ニュートラル  
Carbon Neutral

ネイチャー  
ポジティブ  
Nature Positive

**GX**

(Green Transformation)

**NbS**

(Nature-based Solutions)

自然・人・社会が共に持続するための最適解

幸せを創る明日の風景を実現する共創事業

# Village



# Village出展とは

- 会場内に設定される5つのVillageのコンセプトに沿って、出展者様と主催者の共創によりテーマを実現するものです。
- Village出展では、ご出展者様は、出展区画において、屋外空間(庭園、広場等)と展示施設を整備し、その中で独自の展示や体験コンテンツ等を提供することにより、社会に向けて新たな価値などを発信していただくことができます。

Urban GX  
Village

Craft  
Village

Farm & Food  
Village

Kids  
Village

SATOYAMA  
Village

Urban GX Village

# カーボンニュートラル社会にGXで挑む



企業の皆様と取り組みたい活動

## GXの実装の姿を可視化し、 カーボンニュートラル社会の 未来を示す。

最先端の科学、脱炭素技術など、ミライの「ワザ」で、  
持続可能な循環型社会と都市の姿を具現化し、体感していただく。

(キーワード) 脱炭素、再生可能エネルギー、CCU技術、空間木質化、自然由来素材 など

Craft Village

自然とのつながりの中で育まれた智慧・技術と出会う





# Craft Village

自然とのつながりの中で育まれた智慧・技術と出会う

企業の皆様と取り組みたい活動

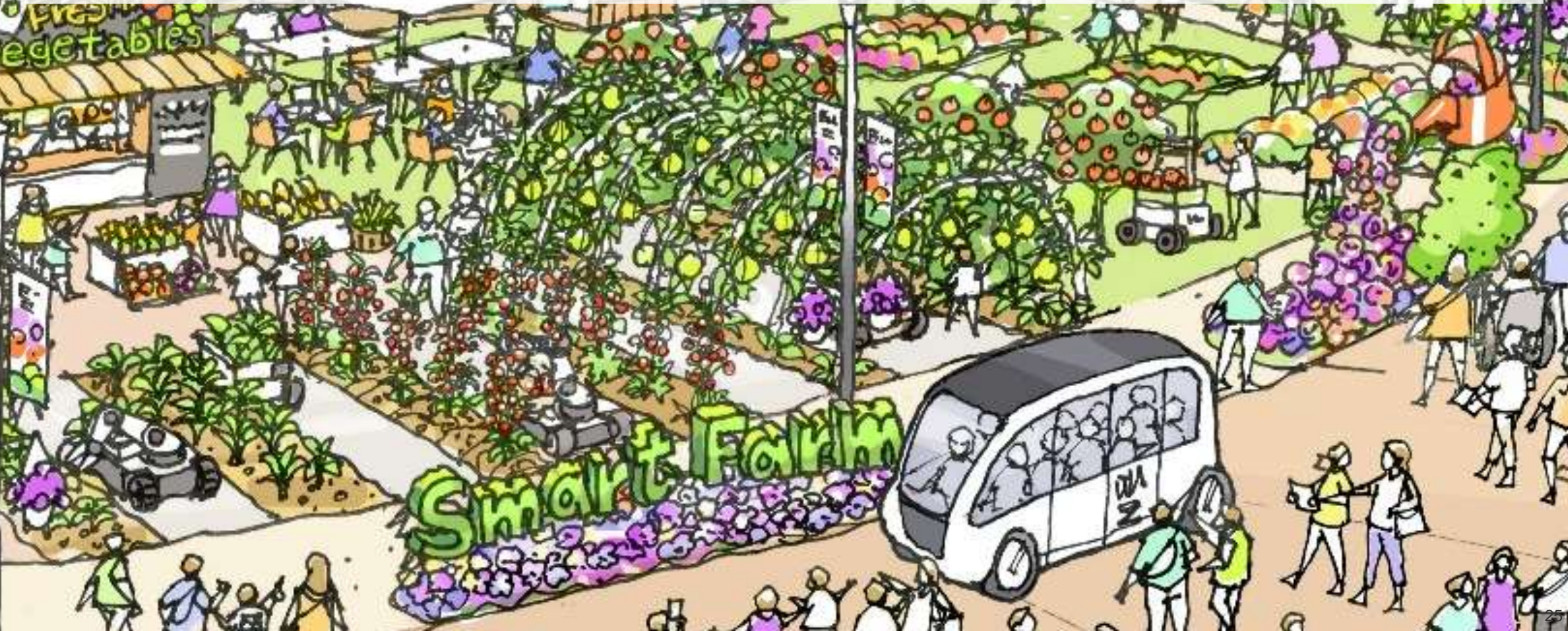
## 伝統的なサーキュラー・エコノミー を再発見・再評価する。

温故知新 — 日本人が古来築いてきた循環型の社会を  
見つめなおし、次世代のグリーン社会のあり方を考え、発信する。

(キーワード) 郷土食、染色、発酵、手しごと、民芸、祭り、災害と向き合う知恵 など

Farm & Food Village

「農」と「食」を通じてウェルビーイングを追求する



# Farm & Food Village

「農」と「食」を通じてウェルビーイングを追求する

企業の皆様と取り組みたい活動

農と食の多様性を知り、香り、  
味わう。健やかに生きる喜びを。

農、食、健康に関する課題解決、その先の幸福な生き方を、  
体験やテクノロジーによって示す。

(キーワード) アグリテック、食文化、品種の多様性、農福連携、香り産業 など

## Kids Village

これからの地球を生きる子どもたちが自然と世界を学ぶ



企業の皆様と取り組みたい活動

## 次世代を担う子どもたちに、 リアルな感動と気づきの種をまく。

大地を感じる空間で、五感をフル活用した学び、遊び、  
交流を通じて、知識と体験を統合させ、地球の未来を考える。

(キーワード) 環境学習、アクティブラーニング、異文化交流 など

SATOYAMA Village

自然と人、人と人が関わりあい、共に生きる



企業の皆様と取り組みたい活動

里山に学ぶ生物多様性と  
ネイチャーポジティブ。  
持続可能な社会に向け、  
多様な主体が集い、共創する。

自然と人とが共生する里山の考え方を継承しつつ、市民と企業との共創、市民参加活動により、未来のグリーン社会を形作っていく。

(キーワード) 生物多様性、TNFD、ネイチャーポジティブ、自然資本、環共市民 など

GREEN  
×  
EXPO  
2027  
YOKOHAMA JAPAN

Village出展 公募について



## 出展場所

- 会場内に全Village合計10～20区画を配置する予定です。
  - 1区画あたり約1,000㎡～3,000㎡の予定です。
- ※ 区画形状や区画数は、応募状況等により変更になる可能性があります
- ※ 出展いただくVillage及び区画面積については、協会において、出展参加申込の内容や会場全体の調和等を踏まえた調整を行い、出展内定時にお伝えします
- 建ぺい率は、50%以内です。 建築にあたっては、今後公表する参加ガイドラインを遵守ください。

## 実施可能な活動

- 企業展示施設内の一部(延床面積の20%以内)で、飲食・物販営業を行うことが可能です。その場合は、協会が今後定める規程等に基づき、飲食・物販に伴う売上納付金(売上歩合等)を協会に納めていただきます。
- 実施する活動に応じて、食品衛生法や消防法、その他関係法令が定める手続を遵守してください。

## 出展費用

- 出展料は、出展区画の面積に「20,000円/m<sup>2</sup>」を乗じた額です。  
出展参加契約締結の日から30日以内に50%を、敷地引渡し時に残額を納付していただきます。
- 屋外施設の企画・設計、展示施設や屋外空間の整備、展示物の制作・設置、出展区画の維持管理及び撤去・現状復旧、各種インフラ利用に係る費用(光熱水費、通信費など)等に係る費用については、出展者の負担となります。

## 特典

- 参加形態・規模に応じて、以下に掲げる特典の一部または全部の提供を予定しています。

※ 利用範囲や利用方法については、今後提示する予定です。

※ 2024年3月時点のものであり、今後追加・変更することがあります。

### ◆ 呼称権

(例)GREEN×EXPO 2027 ○○パートナー ※今後提示する予定です

### ◆ 会場内名称表示権

### ◆ 公式ロゴマーク使用权

### ◆ 式典等への招待

## 出展タイプ

### ① 敷地渡し型

出展者が出展区画(敷地)に自ら展示施設を建設するとともに、屋外空間(庭園、広場等)を整備する出展タイプです。

### ② GX House設計施工代行サービス(建物渡し型)

協会が展示施設の設計・建築等を代行※し、出展者は内装やサイン、展示物、屋外空間(庭園、広場等)を整備する出展タイプです。

※協会と別途契約の上、費用が発生します。

# GX House設計施工代行サービス



GX House設計施工代行サービスにより整備される展示・営業施設(イメージ)

# GX House設計施工代行サービス

本サービスは、協会が出展者に代わり設計施工を行うもので、規格化されたリユース部材の活用により、環境負荷を低減すると同時に、コストの低減・工期短縮・事業リスク低減を図るものです。

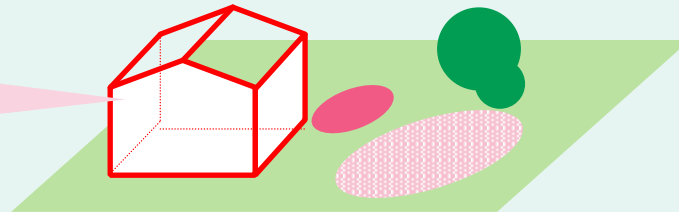
※GX Houseとは本サービスにより提供されるGREENサーキュラー建築の条件を満たした展示・営業施設を指します。

## 出展施設

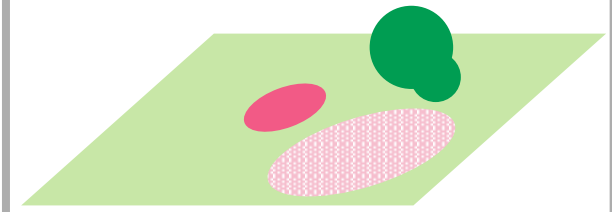
### GX House設計施工代行サービス(建物渡し型)

協会が出展施設の設計施工を代行するサービス(有償)  
(出展者は、内部展示及び庭園等を整備)

建物内外装の  
カスタマイズが可能



敷地渡し型  
(出展者が建物及び  
庭園等を整備)



# GX House設計施工代行サービス ～4つの利点～

## 環境配慮

国産木材を積極的に活用するなどして、環境負荷を低減するとともに、園芸博終了後のリユース、リサイクルを促進することを目指します。

## スケジュールコントロール

協会が出展者に代わってスケジュールコントロールを実施します。

## 設計・整備サービス 代行サービス コストコントロール

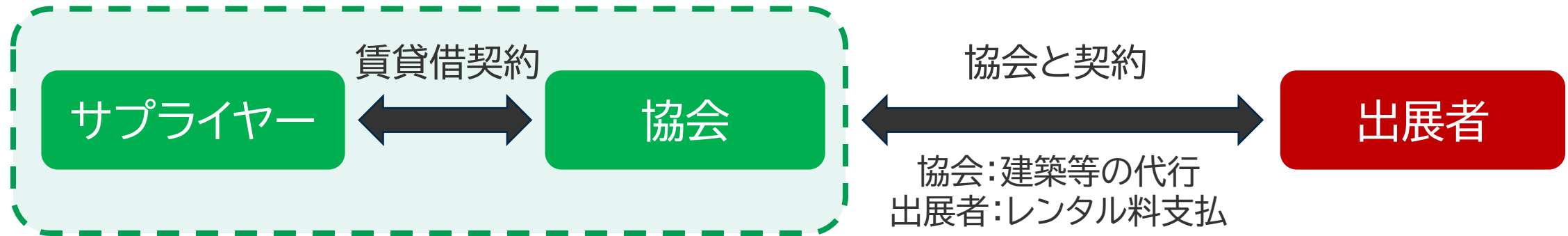
建築工事等に係る設計・施工・管理を出展者に代わって協会が実施します。

出展者には、基本プランと費用をお示しますので、建設コストの見通しが立てやすいサービスとなります。

GX House  
設計施工

代行サービス

## サービス利用時の契約等について

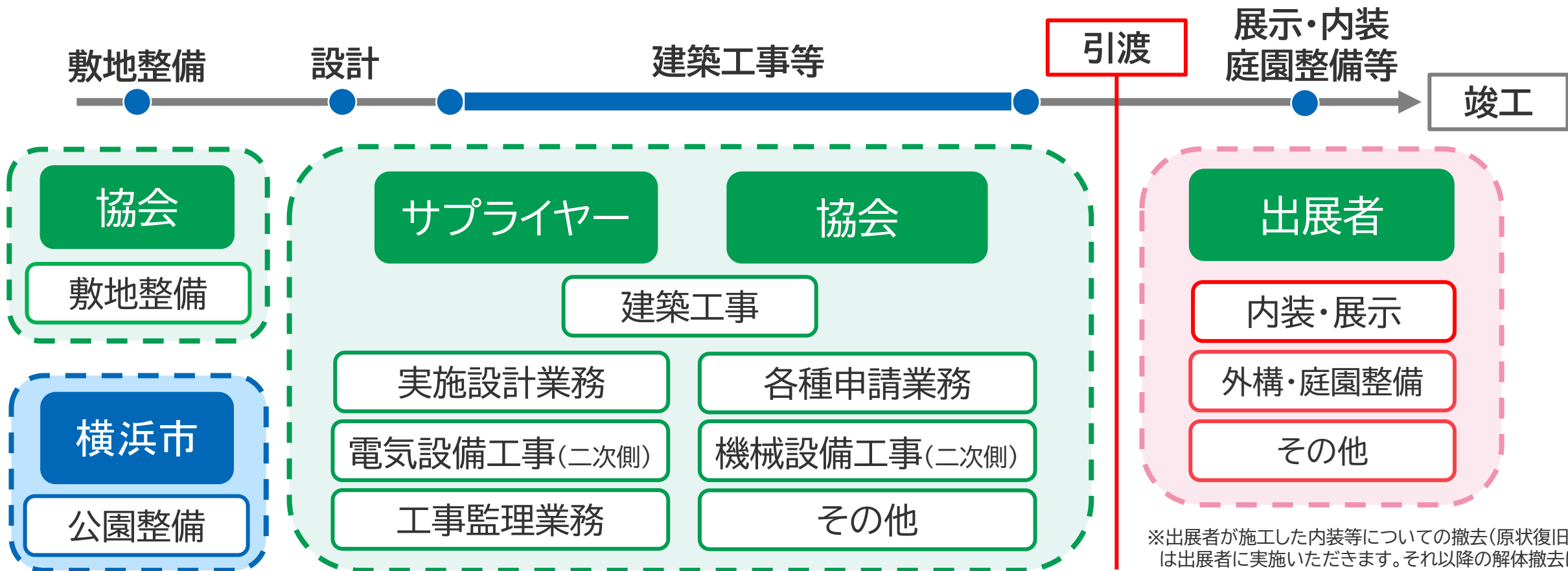


- 出展者は、協会との間で契約を締結いただきます。
- 出展者には、レンタル料(設計費・資材費・建設費・解体撤去費含む)のご負担と、展示に関連する工事等を実施いただきます。

※レンタル料の支払時期については、今後お知らせします。

※出展者が施工した内装等についての撤去(原状復旧)は、出展者に実施いただきます。

竣工までのフロー



※出展者が施工した内装等についての撤去(原状復旧)は出展者に実施いただきます。それ以降の解体撤去については協会で行います。

- 協会は建築工事等に係る設計・施工・管理を出展者に代わって実施します。これにより、出展者のスケジュールコントロールが容易になります。
- 出展者には、展示・内装・空調工事と外構・庭園整備を実施いただきます。



## 作業及び経費負担の役割分担

GX House設計施工代行サービス(建物渡し型)での出展区画の設計から撤去までの作業及び経費負担の基本的な役割分担は、下表のとおりです。

項目	項目	作業実施者		経費負担者	
		出展者	協会	出展者	協会
設計	展示施設(GX House)の実施設設計及び許認可手続き		○	○	
	展示施設(GX House)の内装・サイン・展示物、屋外空間(庭園、広場等)の企画・設計	○		○	
工事	出展区画の基盤整備(整地)		○		○
	出展区画境界までのインフラ(電気、給水、排水、通信)の整備		○		○
	展示施設(GX House)の建築・外装工事		○	○	
	外装のカスタマイズ		○(任意)	○(任意)	
	展示施設(GX House)の内装・サイン工事	○		○	
	展示物の設置	○		○	
	屋外空間(庭園、広場等)の整備工事	○		○	
維持管理	出展区画内の全ての施設・設備の管理運営	○		○	
撤去	展示施設(GX House)の建築・外装の解体撤去、原状復旧		○	○	
	展示施設(GX House)の内装・サイン・展示物、屋外空間(庭園、広場等)の撤去、原状復旧	○		○	

GX House設計施工代行サービスに含まれる項目です。

## 作業及び経費負担の役割分担（敷地渡し型の場合）

敷地渡し型での出展区画の設計から撤去までの作業及び経費負担の基本的な役割分担は、下表のとおりです。

項目		作業実施者		経費負担者	
		出展者	協会	出展者	協会
設計	展示施設、屋外空間(庭園、広場等)の企画・設計	○		○	
工事	出展区画の基盤整備(整地)		○		○
	出展区画境界までのインフラ(電気、給水、排水、通信)の整備		○		○
	展示施設の整備工事(建築、内外装、空調)	○		○	
	展示物の設置	○		○	
	屋外空間(庭園、広場等)の整備工事	○		○	
維持管理	出展区画内の全ての施設・設備の管理運営	○		○	
撤去	展示施設、屋外空間(庭園、広場等)の解体撤去、原状復旧	○		○	

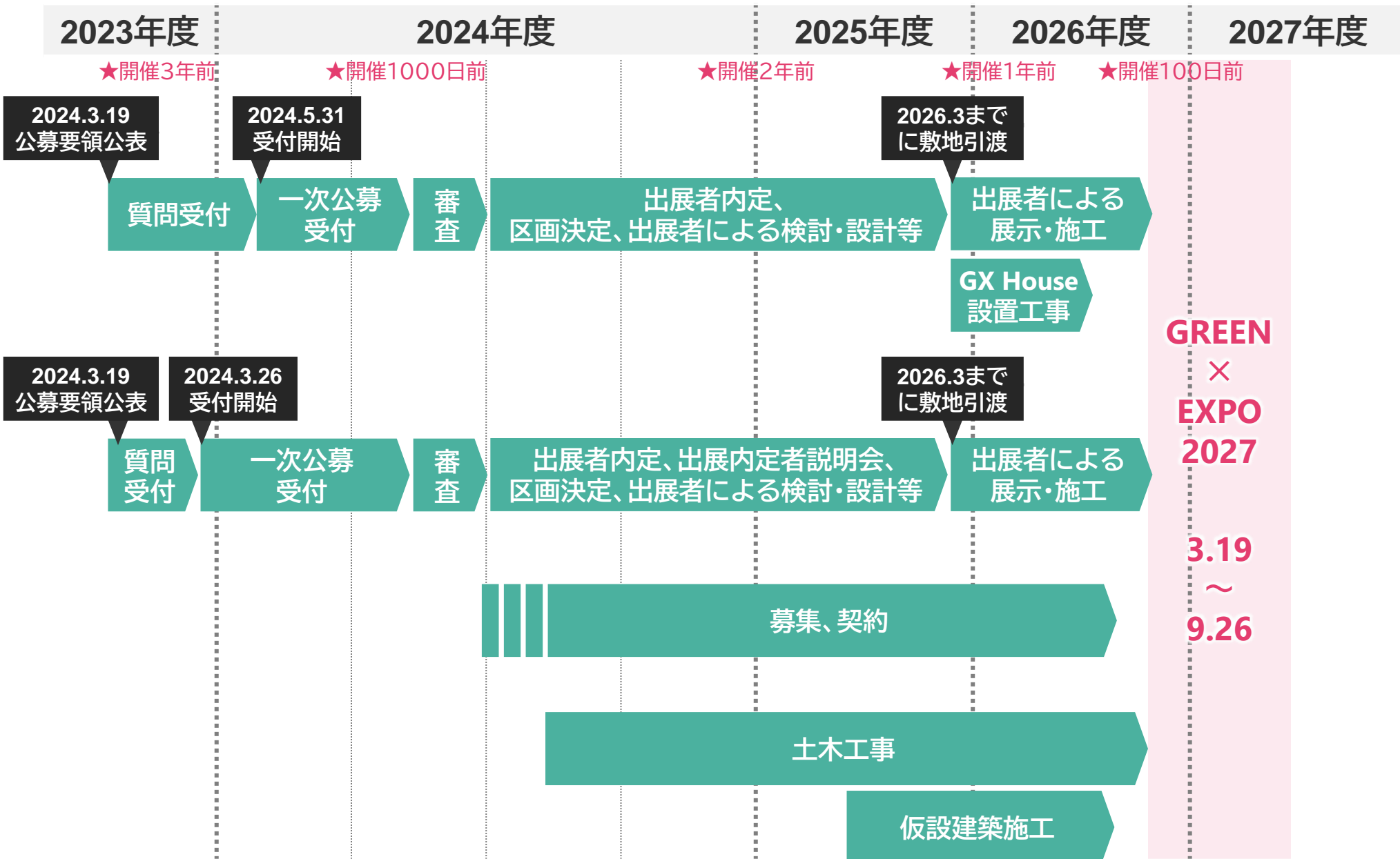
出展		その他の参加		
<b>花・緑出展</b>  園芸品種や庭園など 花き園芸や造園技術を表現	<b>Village出展</b>  Villageコンセプトに沿って 各企業等のビジョンや テクノロジーを表現	<b>営業参加</b>  テーマ営業出店 一般営業出店 場内輸送 モビリティ運営 観覧施設運営	<b>催事参加</b>  一般催事参加  テーマ催事参加	<b>海外出展協力</b>

協賛			寄附金・人材支援	
<b>展示や出展への協賛</b>  協会展示協賛 (テーマ館・展示園)  Village協賛	<b>施設協賛・運営協賛</b>  社会実験 植物・現物・役務等 の提供  催事協賛  協会主催催事 協賛	<b>広報協賛</b>  タイアップ  媒体枠等の提供	<b>寄附金</b>	<b>人材支援</b>

# 今後のスケジュール

## Village出展

※ 二次公募のスケジュールは  
実施決定時に別途お知らせ



## 花・緑出展 (企業・団体・個人)

※ 二次公募のスケジュールは  
実施決定時に別途お知らせ

## 営業参加、協賛

※ 場内輸送等、募集～契約時期  
が早まる可能性あり

## 会場整備

GREEN  
×  
EXPO  
2027

3.19  
~  
9.26

2027年国際園芸博覧会協会  
ホームページ



公募要領はこちらから  
ダウンロードできます



公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会  
企業団体等参画窓口  
sankaku@expo2027yokohama.or.jp

# 幸せを創る明日の風景

Scenery of the Future for Happiness

Think & Action



参加者が新たな風景・体験により  
環共市民として行動

Village



多様な企業等が参加し、  
ビレッジのコンセプトのもとで共創

System



GX・DXのショーケースとして、  
様々な新しいシステムを実装

Horticulture



A1クラスの国際園芸博覧会として  
花や緑が豊かな魅力ある会場

Platform



上瀬谷の自然地形、植物を生かした  
レガシーとなる環境・植物・防災公園



誰もが叶えたいと願う  
「幸せを創る明日の風景」を  
皆さんと一緒に。